

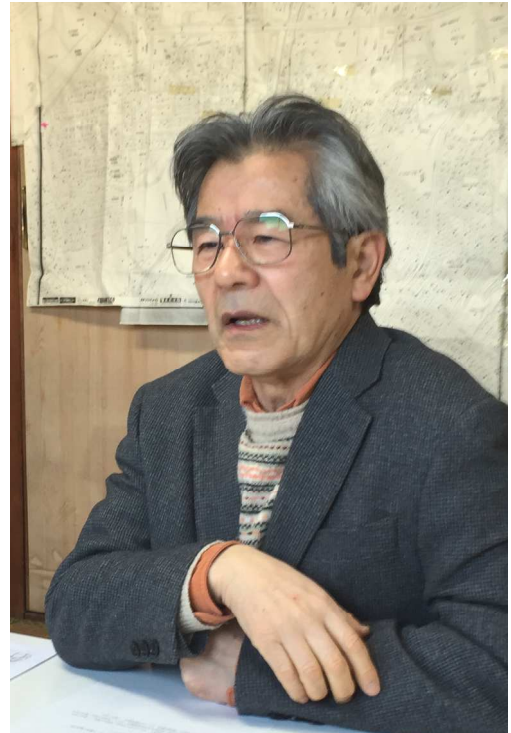
北九州革新懇ニュース

平和・民主・革新の日本をめざす北九州の会
〒803-0817 北九州市小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F
Tel.093-592-5000 Fax093-571-4346
E-mail k-kakushinkon@ace.ocn.ne.jp

全国革新懇「三つの共同目標」

1. 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
2. 日本国憲法を生かし、自由と人権・民主主義が発展する日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

北九州革新懇 インタビュー



プロフィール 竹下秀俊 1946 年生まれ。
1975 年 九州大学工学部建築学科博士課程満期退学。
1975 年 4 月 九州共立大学工学部建築学科赴任。
2005 年 3 月 同退職。現在、福岡県革新懇代表世話人、
おりお 9 条の会代表世話人等で活動。

2 月 9 日今回は八幡西区折尾地域を中心に地道に活動を続けておられる竹下秀俊さんを訪ね、八幡西区革新懇の嶋国勝と棚次奎介がインタビューをしました。

■九州共立大学民主化の運動に取り組みられた経緯をお聞かせてください。

就職して初めてわかったのですが、福原学園はとんでもないところでした。理事長福原軍造のワンマン経営で自由にモノが言えない状況でした。教授会も名ばかりで、経営者の決定報告機関に過ぎませんでした。教員の給与も理事長の判断で決まり、教員個別に通告されるという状態でした。何とかしなければと思っていました。同じ福原学園の八幡西高校には組合が存在しましたが弾圧されて組合員は 2 名になっていました。その高校の組合委員長から懇請され、大学でも組合を作ることになりました。5 年かかりましたが 1984 年

に、工学部教員 19 名で大学教職員組合を結成しました。経済学部からの参加者はいませんでした。翌年、学園の水増し入学とそれに伴う不正経理問題が生じて、文部省からの私学助成金の 5 年間停止という事態となりました。結局、理事長は引責辞任となりましたが、その後も自動車教習場の移転候補地の取得を巡る不正、教員 6 名の解雇などさまざまな不祥事が続きました。教授会連合、高校教職員連合、福原学園再建全学教職員会の結成、学内集会、学生への説明会、保護者への説明など、さまざまな活動とたたかいを通じて解

決の方向に向かうことができました。

■折尾街づくりに取り組まれてきっかけについてもお聞かせてください。

赴任当時、九州共立大学の学園祭は学生の参加も少なくひどいものでした。地域の人にどう目を向けさせることができるかが大きなテーマでした。住民の方と一緒に折尾の街づくりについて語るシンポジウムを開いたとき、参加者から「続けないと意味がない」という意見が出て「折尾のまちづくり研究会」を立ち上げることになりました。5年くらい続きましたが、学園民主化のたたかいが厳しくなったため一定期間休止し、あらためて2004年に「学園&地域交流ネットワーク」を設立し、活動を再開しました。オリオンプラザ1階に無料休憩交流スペースとして「ゆめ広場」

を開設し、リサイクルバザー、手芸教室、街づくりセミナー、写真展などを開催していました。現在は福岡銀行隣の「ドルフィン」に場所を移動し、授産品バザーもやっています。そうした活動の一環として人にやさしい街づくり、バリアフリーの街づくりの提案、各種講座・学習会を開催しています。堀川の保存と折尾駅舎の保存運動にも取り組みました。月1回発行の「フレスターニュース」も今では134号になっています。

今私は福岡市に住んでいますが、そうした関係で退職後も、折尾にはよく来ています。

■「折尾9条の会」代表として活躍している立場から、戦争法廃止の展望についても聞かせてください。

シールズのように、戦争法に反対する若い人の自発的な台頭は日本の将来に明るい展望をもたらすものです。しかし、現状ではまだまだ少ないと思います。多くの学生は在学中授業料、奨学金、アルバイトの問題を抱えていて、勉強に集中する余裕がなくなっています。就職活動も展望が見えず、就職先が非正規採用の場合も増えています。戦争法や原発再稼働に関して賛否を問われれば反対と答える人が多いと思いますが、最大の関心は今日の生活、明日の生活がどうなるかです。政治の問題と個人が直接結びつかないので、一般的な政治不信に陥り投票行動を棄権するという悪循環が生まれていると思います。やはり学生の場合は先生がバックアップしなければなりません。バックアップする教員の多い大学では戦争法廃止のための行動に立ち上がる学生も多いようです。とにかく若い人が自分自身の問題として理解し立ち上がることが戦

争法を廃止に追いやる最終的な鍵を握っていると思います。

7月に行われる参院選で与党の過半数割れを実現し、さらには衆議院を解散総選挙に追い込むことが必要です。そのためには各政党の「お家の事情」を乗り越えて大同団結しなければなりません。そこに市民運動の果たす役割は極めて大きいと言えます。

安倍政権は選挙対策のために「アメ」としてのばらまき施策を打ち出していますが、惑わされてはいけません。大企業向けの法人税の軽減、軍事費の増大、不要不急の大規模開発、来年4月に実施される10%の消費税など、国民への「ムチ」が多数用意されています。中東への戦争参加となれば莫大な追加予算が計上されることとなります。私たちの生活と子供たちの未来のために力をあわせて頑張りましょう。

■一つ一つ問題を解決しながらのたゆみない前進、住民の生活意識にまで分け入って地道に地域運動に取り組む姿勢、感動しました。地域に根差した革新懇の活動を展望する上でも示唆に富むインタビューでした。今日はありがとうございました。

城野遺跡は国民的文化遺産であり、市民の大事な財産です

-北九州市は土地を取得し、遺跡公園として整備・活用を！-

城野遺跡の現地保存をすすめる会
事務局長 永田由起

城野遺跡は、広大な旧医療刑務所跡地で発見され、弥生時代の集落跡が丸ごと残っており、九州最大規模の方形周溝墓と真っ赤な水銀朱が惜しげもなく塗られた幼児の石棺2基、九州で2例目の玉づくり工房跡など日本考古学協会も認める学術上重要な遺跡です。そこに立てば、足立山の麓に広がる1800年前の弥生時代人の集落と暮らしが目に浮かび、間近に感じられる数少ない遺跡です。



1月16日九州考古学会会長武末純一さんの学習会は160人を超える参加で大盛況だった

市は当初、重要な遺跡として現地保存の方針でしたが、土地所有者である国との保存交渉が成立せず、国が公的団体向け売却手続きに入ると取得要望することなく、2014年6月に現地保存を断念しました。国は民間への売却のため昨年11月20日に一般競争入札を公示し、今年1月19日に落札されました(詳細はまだ未公開)。

「すすめる会」は国が一般競争入札に踏み切ったことを知り、急ピッチで城野遺跡の重要性を知らせる学習会や講演会、現地見学会、署名に取り組み、市議会や市長、国(財務支局)に対して要望、懇談とともに情報開示請求をしてきました。その中で、城野遺跡の貴重さ

を多くの市民が知らず、知らせれば署名や「すすめる会」への賛同が広がることを実感し、同時に市が現地保存を断念したことへの疑問が深まりました。

1月16日の武末純一九州考古学会会長を迎えての緊急講演会には135人の参加者があり、立見が出るほどで、62,000円ものカンパも寄せられました。アンケートには「初めて知り、驚いた」「ぜひ残してほしい」などの声があがり、私たちの活動の確信と励みになりました。

現在、土地が民間に落札され厳しい状況ですが、まだ潰されていません。

私たち「すすめる会」は小さな会ですが、多くの方々のご協力を得ながら、これからも「城野遺跡は国民的文化遺産であり、本格的な遺跡公園にふさわしく、歴史と文化を大切にす

北九州市のイメージアップにもつながる市民の大事な財産である」ことを市民に広め、署名に取り組みながら、市に要望し、落札者に働きかけていきたいと思っています。



12月5日学習会の後、現地見学会の様子。⑫が月6日付朝日新聞より

これからも「すすめる会」の活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

—3/26 講演会のご案内—

「城野遺跡 石棺墓絵画の謎を解く—節分祭豆まきの起源—」

詳しくは同封のチラシをお読み下さい。講師の設楽博己氏(東京大学教授)は原始絵画研究の第一人者です。城野遺跡で発見された幼児の石棺に描かれた謎の絵画が古代中国の文献にある「方相氏」であれば、日本における節分の起源を大きく塗り変える貴重な発見とも言われていますが、市は調査しようとしていません。ぜひご参加下さい。

野党は共闘 戦争法廃止

野党は共闘
戦争法廃止

赤川次郎 両宮知凍 池田香代子
内田樹 金子兜太 小林節
澤地久枝 瀬戸内寂聴
山口二郎

全国革新懇
Zenkoku Kakushinko

Member Association for
Peace, Democracy and Progress
Japan Kakushinko

A2サイズ(420×594mm)

『戦争法廃止 野党は共闘』ポスター

安倍首相は、「緊急事態条項」のための改憲を繰り返し強調するなど「憲法破壊」の姿勢をいっそう明確にし、暴走を加速しています。戦争法廃止のたたかいは、安倍政権の明文改憲の企てを許さないたたかいと一体のものです。いま「戦争法廃止」「野党は共闘」を国民的な世論にしていくことが決定的です。

ポスターには、各分野で活躍する9氏が登場し、アピールしています。参院選のなかでも公選法上の制約なく貼りだせます。ぜひご活用ください。

○ポスター登場者

赤川次郎(作家)、両宮知凍(作家)、池田香代子(翻訳家)、内田樹(思想家)、金子兜太(俳人)、小林節(憲法学者)、澤地久枝(作家)、瀬戸内寂聴(作家・僧侶)、山口二郎(政治学者)

価格(頒価100円)

ご注文枚数	単価(円)	送料	注文枚数
1~9	100	実費	
10~99	90	実費	
100~999	80	無料	
1000~	70	無料	

■申し込み書

月 日

お名前・団体名	TEL
送り先住所 〒	
請求書送り先(上記と別の場合) 〒	

お申込みFAX

03-3470-1185

平和・民主・革新の日本をめざす全国の会(全国革新懇)
〒151-0051渋谷区千駄ヶ谷1-7-8 尾澤ビル1階
TEL 03-6447-4334
メール zenkoku@kakushinkon.org

●全国革新懇のホームページからダウンロードできます。 <http://www.kakushinkon.org>

・【声明】戦争法廃止の国民的共同を土台に、野党の選挙共闘をすすめ、国民連合政府の樹立を
・2000万人署名

●のぼり「戦争法案許さない」、「憲法を守り生かそう」(1枚1200円・送料無料) ●地域・職場・青年革新懇全国交流会in千葉記録集(頒価500円)